

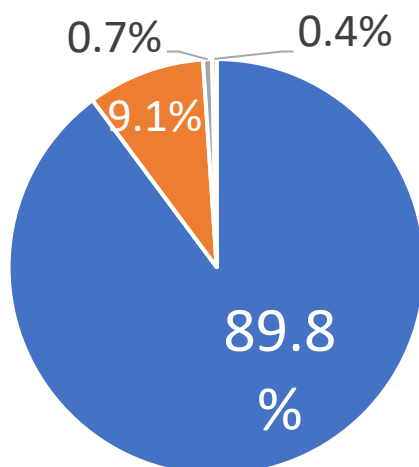
# 健康づくりに関する アンケート調査報告 - 2021年度 -

## 調査概要

- **調査趣旨** 近年特に取り組みが盛んな『健康経営』について、人間ドック委託契約団体様の健康づくりの取り組み状況を把握し、皆様の健幸づくりをサポートできる健診センターとしてお役立ちできるサービスの参考にさせていただくことを目的としています。
- **調査期間** 2021年7月27日（火）～2021年8月7日（金）
- **調査対象** 2018～2020年度に当健診センターをご利用いただいた契約団体様
- **調査方法** Webによるアンケート調査

## 回答状況

- **回答団体数** 285団体（依頼団体数：1,446、回答率：19.7%）
- **回答団体内訳**

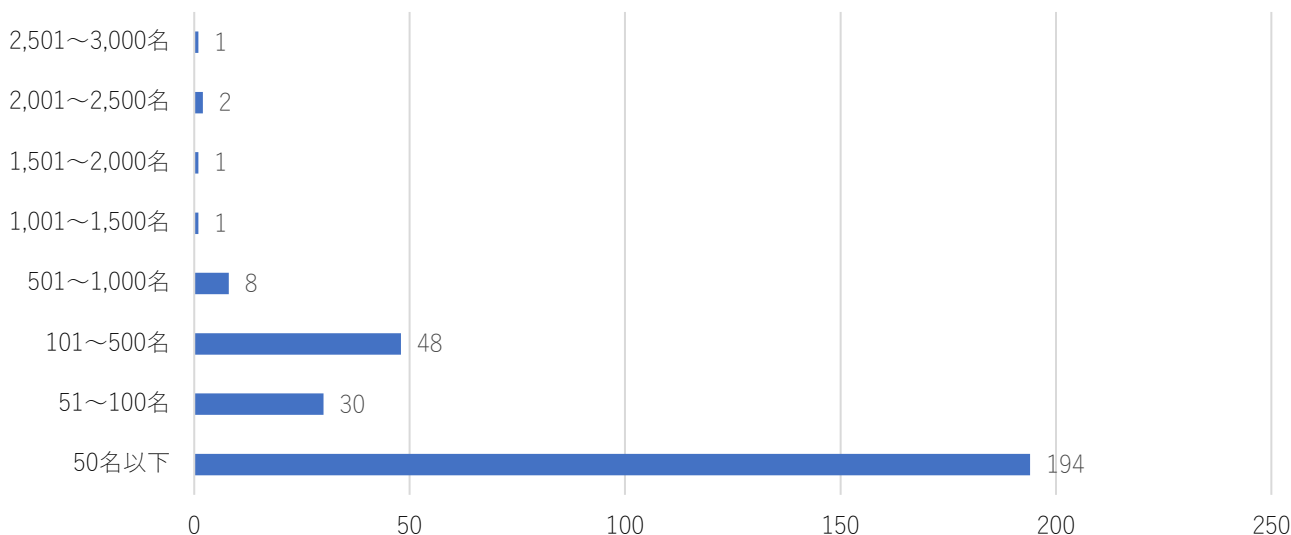


	保険種別	件数
■	協会けんぽ	256
■	健康保険組合	26
■	共済組合	2
■	国保組合	1

# 回答状況

□回答団体数 285団体（依頼団体数：1,446、回答率：19.7%）

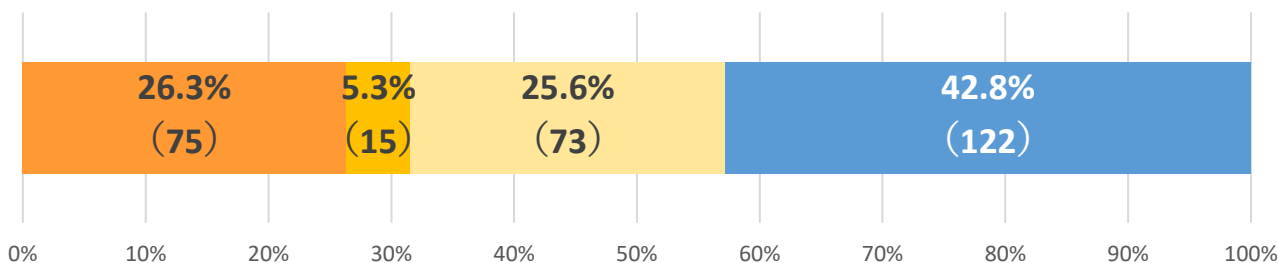
## □従業員規模



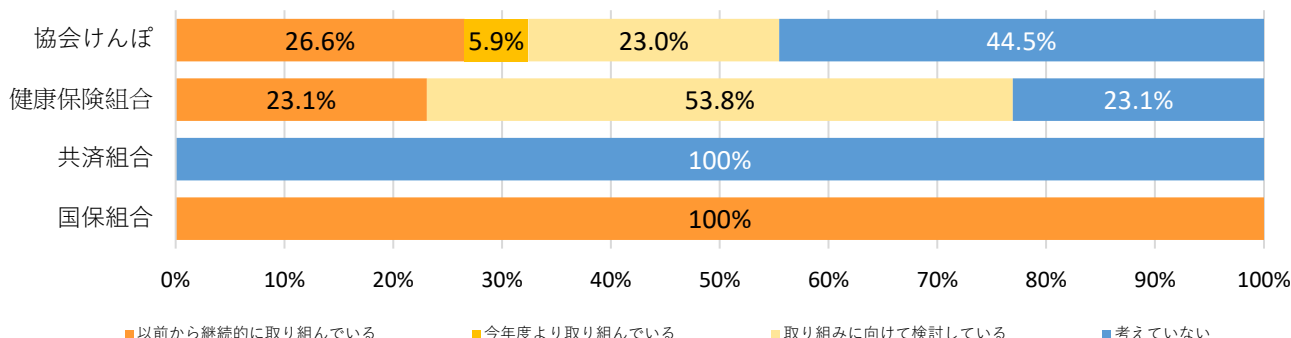
# 健康づくりの取り組み状況

□貴団体での健康経営優良法人認定やふくい健康づくり実践事業所、健康づくり宣言（協会けんぽ）など従業員の健康管理を経営視点で捉えて、組織の価値を高めていく取り組み状況を教えてください。

## ■全体

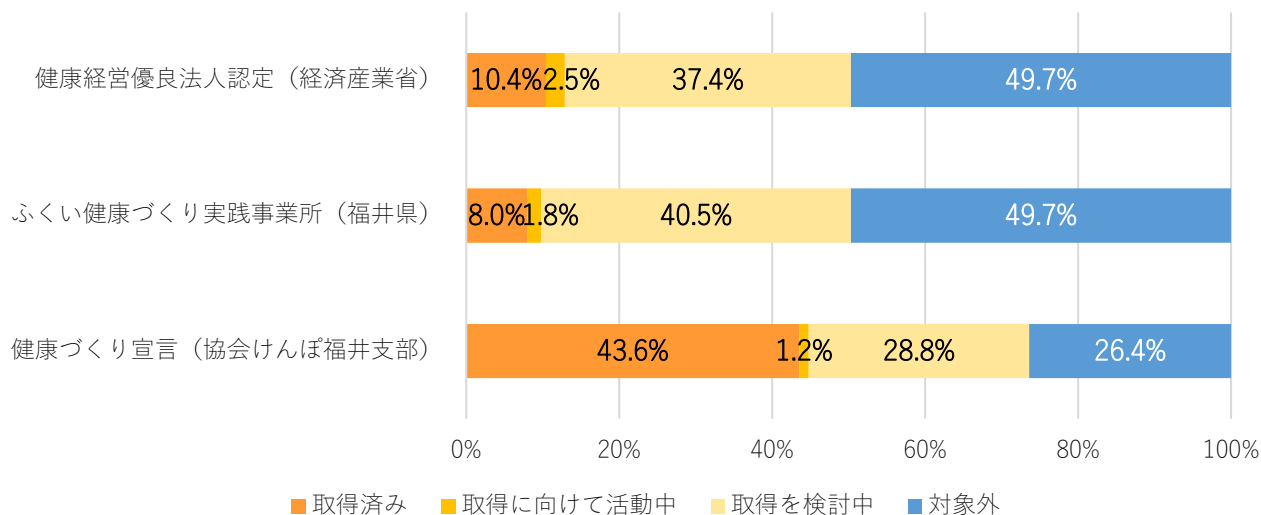


## ■保険種別内訳



# 健康づくりの取り組み状況

□認定を受けている制度を教えてください。



健康優良法人認定：17団体、福井健康づくり実践事業所（福井県）：13団体、健康づくり宣言（協会けんぽ福井支部）：71団体が取得されており、積極的に健康経営に取り組んでおられます。また、それぞれ取得を検討されている団体が多くあり、今後さらに組織あがでの健康づくりの取り組みが増えていくことが予想されます。一方で、『対象外』とのお回答が一定数あり、組織構成によって対象外となるケースもあるようですが、**特に協会けんぽに加入されている団体様は、是非この機会にご検討されてみてはいかがでしょうか？**



経済産業省ホームページ

健康経営優良法人認定制度について詳しく知りたい方は是非  
ご覧になってください。



福井県ホームページ

「ふくい健康づくり実践事業所」を募集します！にて概要が分かります。  
関連ファイルがダウンロードできます。

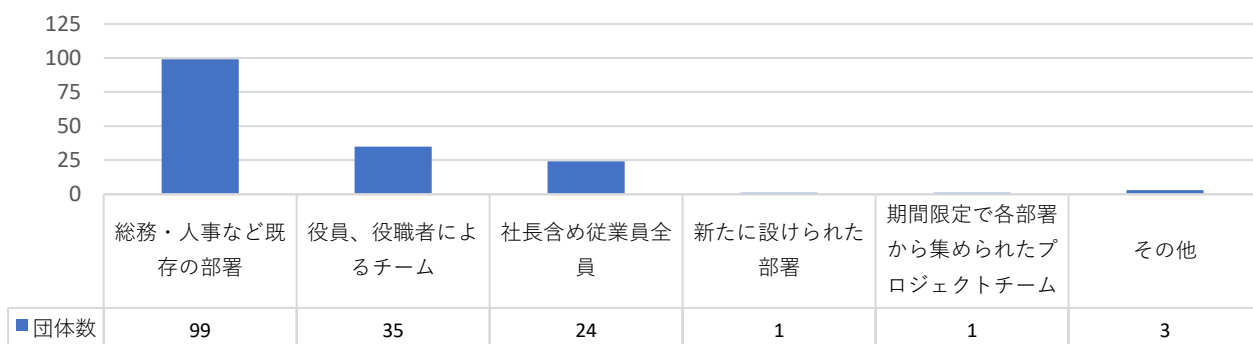


全国健康保険協会 福井支部ホームページ

「健康づくり宣言」始めませんか？へジャンプ！  
健康づくり宣言のステップが分かりやすく解説。パンフ等がダウンロードできます。

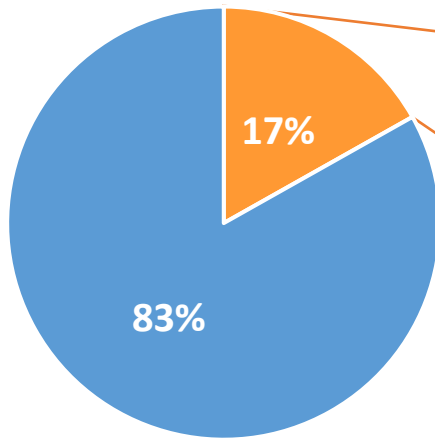


□健康づくりに関する取り組みの企画・運営は、どのような立場の方々が担当されていますか？

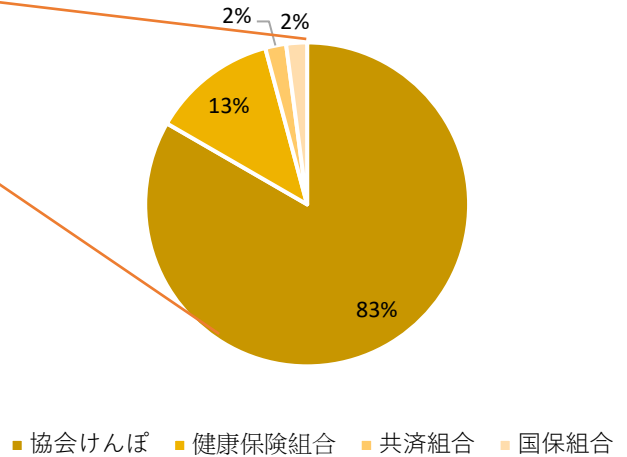


# 健康づくりの取り組み状況

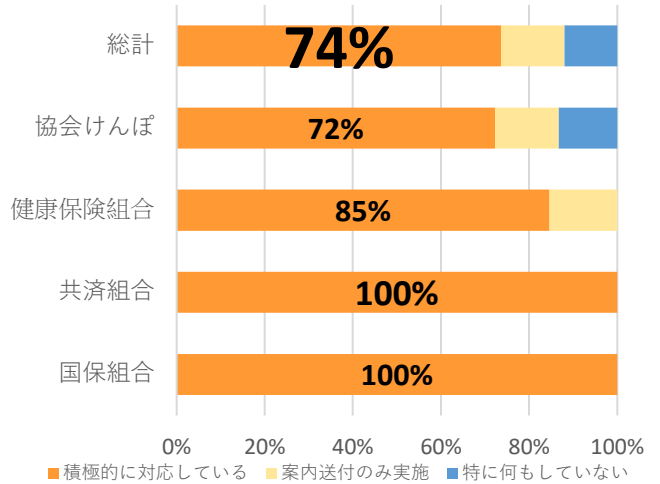
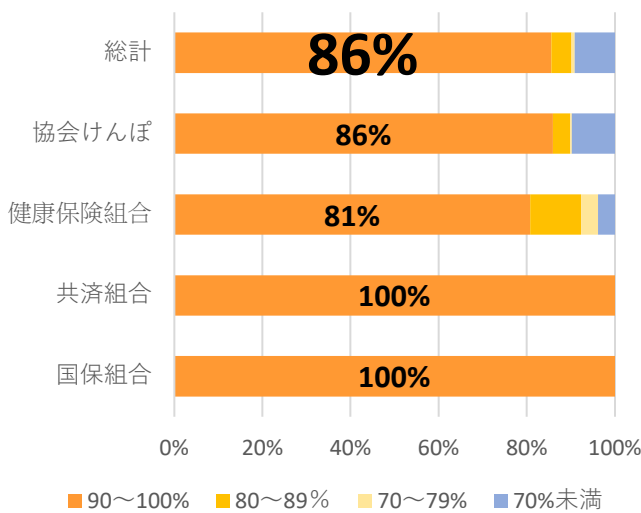
□貴団体では、健康課題に基づいた具体的な目標はありますか？



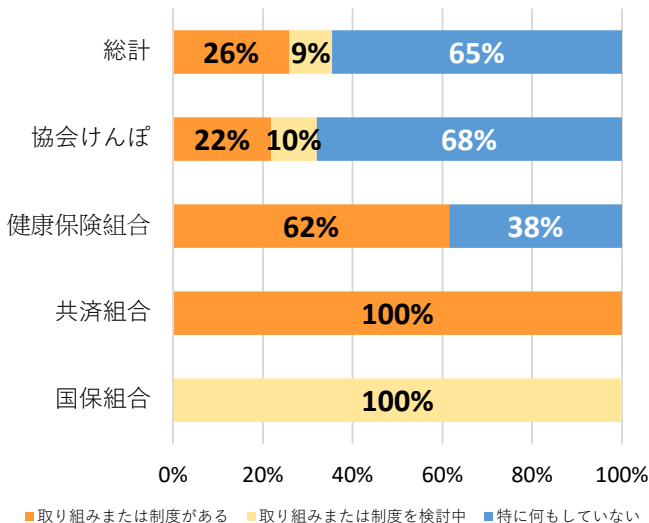
【目標ありの保険種別割合】



□2020年度の定期健康診断実施率を教えてください。 □定期健康診断の受診勧奨を行っていますか？



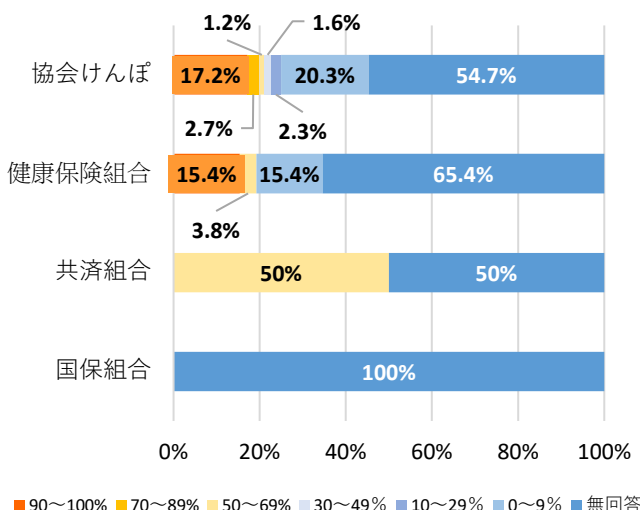
□定期健康診断以外に従業員の健康管理促進を目的とした任意の人間ドック等の受診を勧める取り組みまたは制度はありますか？



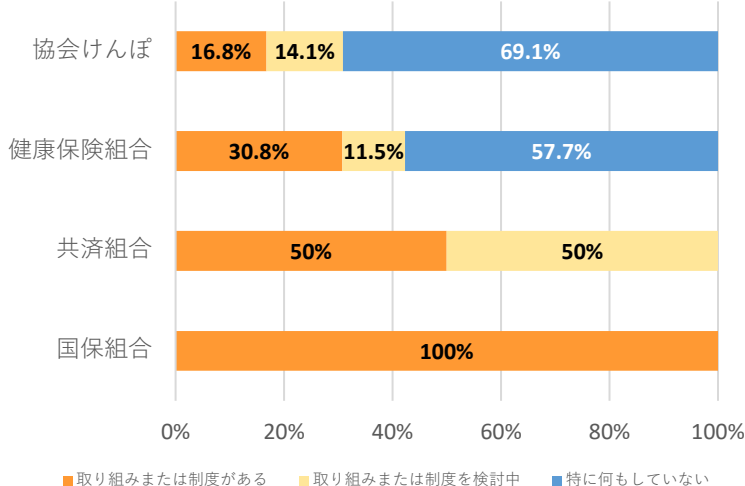
新型コロナウイルス感染症の広がりが社会に与えた影響は、想像を超える規模、スピードだったと感じています。マスク着用や手指衛生の徹底、ソーシャルディスタンスなどの感染対策はもちろんですが、特に「働き方」に与えた影響は「働き方改革」よりもインパクトがあり、促進されたのではないのでしょうか。そんな中で、従業員の健康づくりを経営課題の一つと捉えて**目標を掲げておられる団体様は17%**と低い状況でしたが、**86%の団体様において健康診断受診率90~100%**という結果でした。これまでは、義務としての受診の意味合いが強い方も、コロナ禍での受診によって「自分事」として、改めて自分自身の健康状態に向き合われたのではないかと思います。

# 健康づくりの取り組み状況

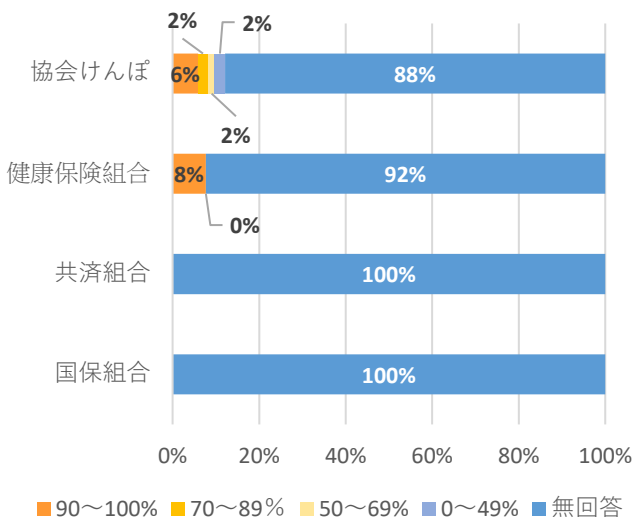
□2020年度の特定保健指導の受診率を教えてください。



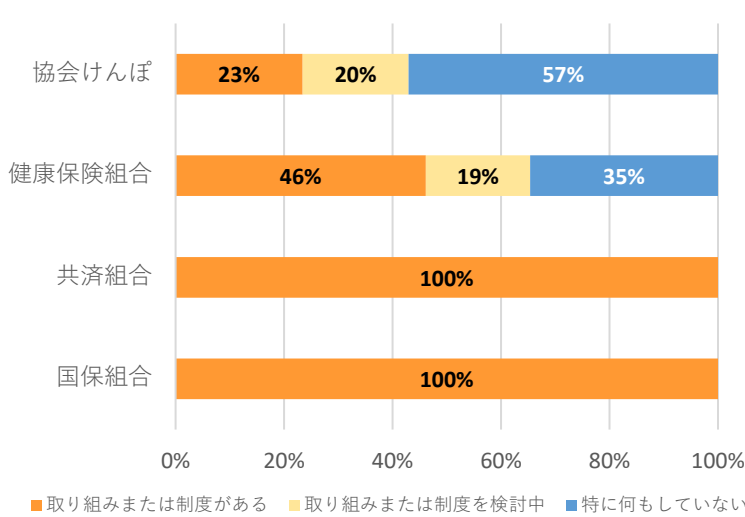
□特定保健指導の受診を勧める取り組みまたは制度がありますか？



□2020年度の精密検査（健診二次検査）受診率を教えてください。



□健診受診後の精密検査の受診を勧める取り組みまたは制度がありますか？



健康経営優良法人認定では、組織のトップが従業員の健康を経営課題の一つとして取り組んでいくことを宣言し、**健康課題に基づいた具体的な目標設定を必須項目**としています。そのためにはまず、従業員の健康状態を知ることが最重要課題だと考えます。その方法として、Performanc Karte（株式会社empheal）をご紹介します。※添付資料をご参照ください。

## 健康経営銘柄2022選定及び健康経営優良法人2022（大規模法人部門）認定要件

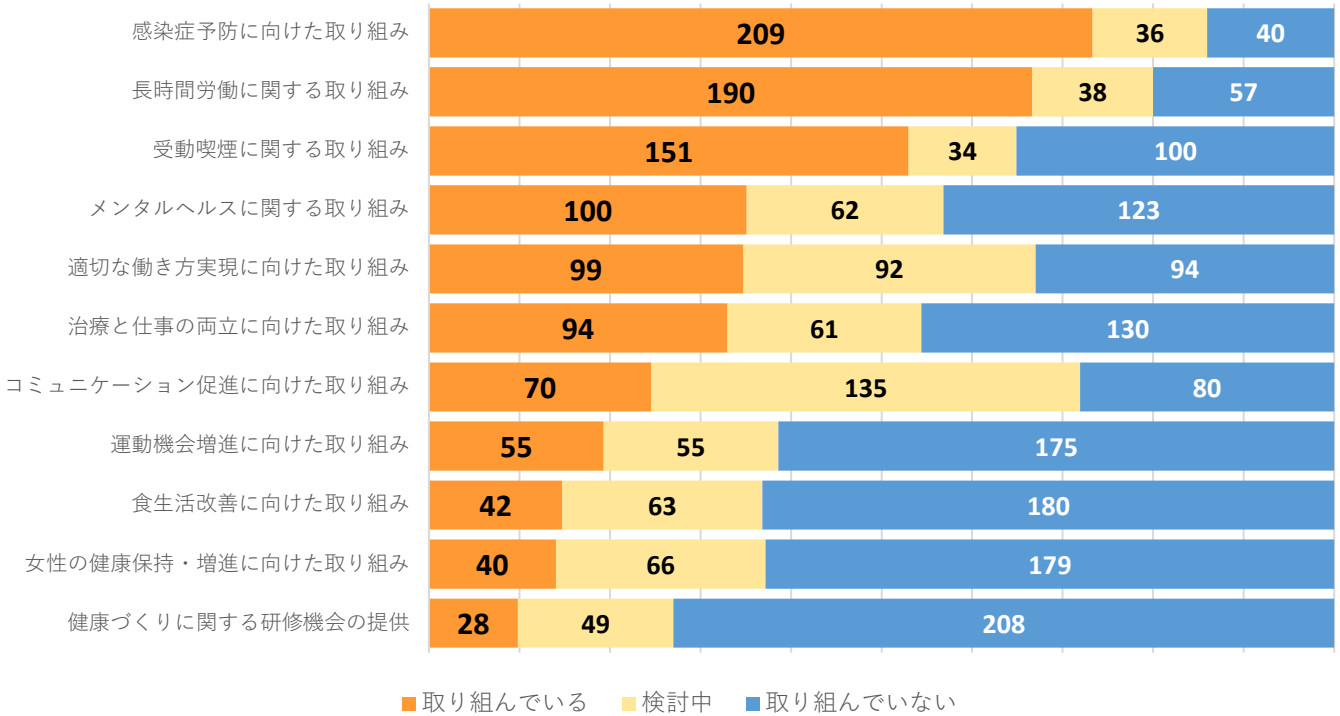
大項目	中項目	小項目	評価項目	認定要件	
				大規模	銘柄・ホワイト500
従業員の健康課題の把握と必要な対策の検討	健康課題に基づいた具体的な目標の設定	健康経営の具体的な推進計画	健康経営の具体的な推進計画	必須	
				②従業員の健康診断の実施（受診率100%）	
				③受診勧奨に関する取り組み	
				④50人未満の事業場におけるストレスチェックの実施	



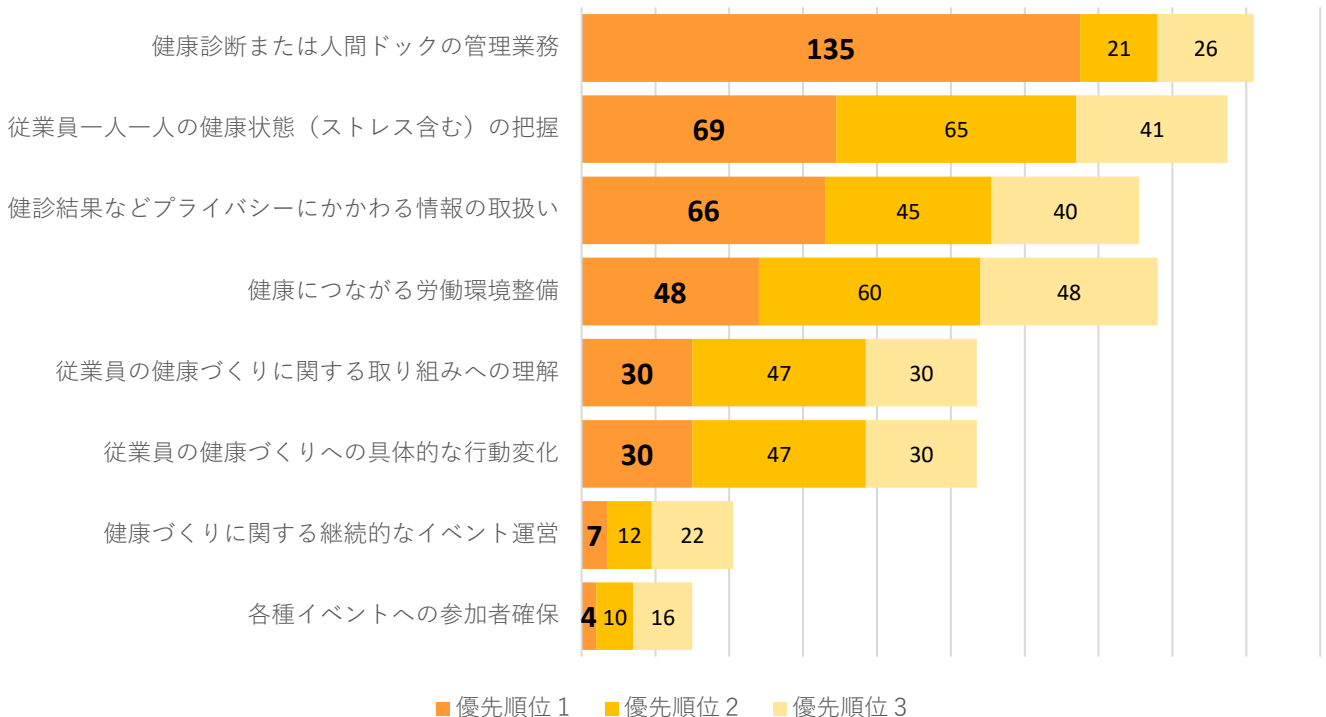
従業員と職場の健康管理レベルが「見える化」できるようです。**2021年10月末までトライアルとして無料で診断できる**そうです。ご活用ください。

# 健康づくりの取り組み状況

□健康診断や人間ドック以外に従業員の健康づくりを促進するための活動について、該当するものを選択してください。



□従業員の健康づくり促進に取り組んでいる（取り組みを検討している）中で、会社としてまたは担当者として悩んでいること、苦勞されていることについて、優先度もあわせて教えてください。（優先順位1～3）

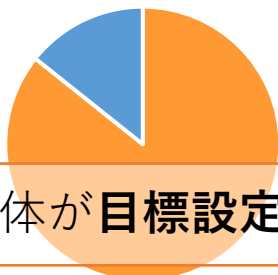


# 認定取得されている団体様の取り組み

ここからは、健康経営優良法人認定、福井県健康づくり実践事業所ともに認定を受けている7団体に絞り、取り組み状況をみていきます。

## □健康課題についての取り組み -定期健康診断、特定保健指導-

### 【目標設定の有無】



6 団体が**目標設定あり**

### 【定期健康診断受診率】

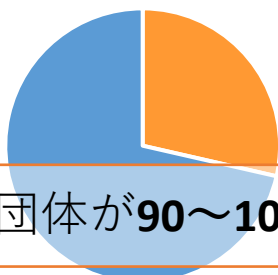


7団体すべて**90～100%**

### 【目標内容】

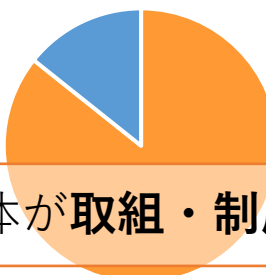
団体	2020年度の健康課題に基づいた具体的な目標を教えてください。	2020年度の健康課題に基づいた具体的な目標の達成状況を教えてください。
A	①喫煙者ゼロ ②定期健康診断・再検査・要治療 受診率100% ③健康イベント参加率80%	①喫煙率 1.5% ②前期実績 87% ③2020年春実績 62.6%
B	健康診断、特定保健指導の受診100%	<b>100%受診を達成</b> できました。
C	健康診断受診率 100%	1新型コロナウイルスの影響で、各施設の健康診断が1次中断したが、 <b>100%受診達成</b> した。
D	健康診断受診率 100%	<b>受診率100%</b>
E	定期健康診断の血圧と血糖の項目において、要治療となったにもかかわらず未治療となっている者に対して再診・治療の勧奨をし、約半分まで未治療者数を削減する。	治療勧奨し、目標値に近い削減を達成できる見通し。
F	定期健康診断受診率100% 再検査・精密検査の必要な社員はその後の結果報告をし、健康管理に努める。	対象となる社員には定期健康診断を受診させている。 <b>所見のある社員には、声掛けで受診勧奨をし、半数以上の社員に結果報告をさせることが出来ている。</b> また、特定保健指導対象となった社員については、 <b>今年全員が指導を受けてもらった。</b>

### 【特定保健指導受診率】



2 団体が**90～100%**

### 【指導の受診勧奨取り組みまたは制度の有無】



6 団体が**取組・制度あり**

団体	特定保健指導の受診を勧める具体的な内容を教えてください。
B	重症化する前に、本人の意識と生活習慣を変えるためには、保健師からの勧奨が必要だと思います。
C	社内回覧、メールにより、健康への意識を高める
D	<b>特定保健指導の必須受診。業務時間内での受診。</b>
E	電話やメールによる受診勧奨
F	<b>受診を義務化している。</b>



# 認定取得されている団体様の取り組み

## □健康課題についての取り組み - 精密検査の受診を勧める取り組み、制度-

【精密検査受診を勧める取り組み、制度の有無】 【受診を勧める具体的な方法】

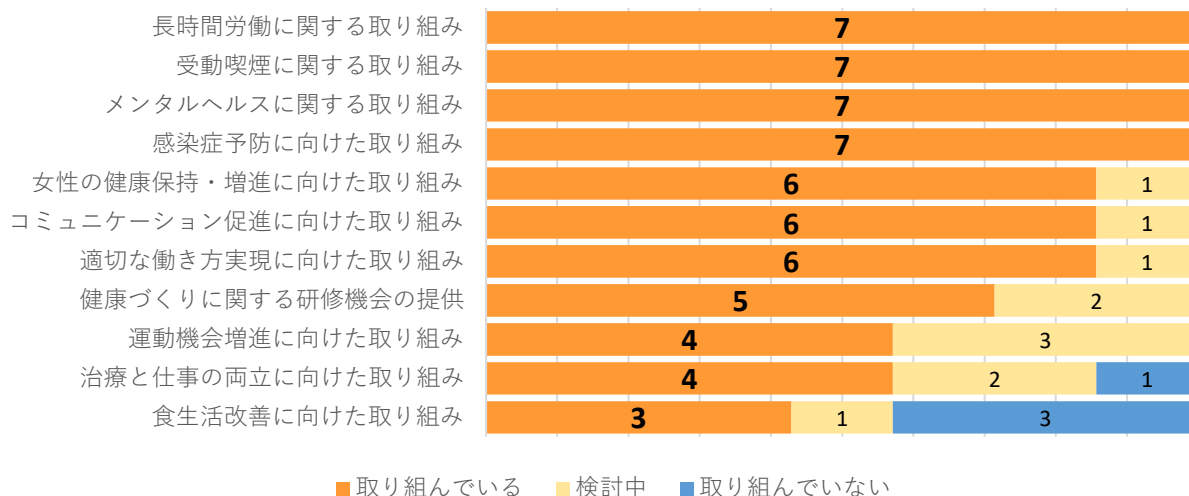
5 団体が取組・制度あり

団体	精密検査（健診二次検査）の受診を勧める具体的な方法を教えてください。
C	会社として受診して欲しいと願っている。
D	二次検査の必須受診。費用の一部補助制度。
E	電話やメールにより受診勧奨
F	何度も受診するように個別に連絡する。

【精密検査受診を勧めるうえで困っていること】

団体	精密検査（健診二次検査）の受診率を上げるうえで困っていることがあれば教えてください。
C	既に医療機関で治療中の人、病気を認知しているが、治療を中断している人は、特定保健指導を嫌がる傾向が高い。
E	プライバシーの配慮と、どこまで受診を勧めるか。
F	個人の身体のことという、プライベートの問題などから、受診を促すと、あまりいい顔をされないこと。こちらの心が折れてしまう。

## □健康診断や人間ドック以外に従業員の健康づくりを促進するための活動について

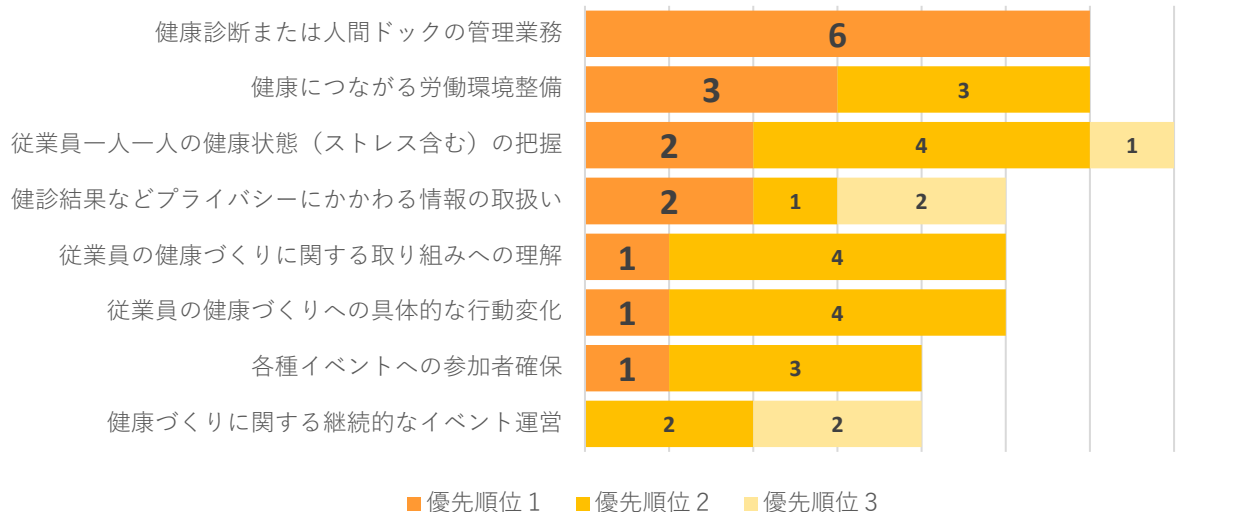


## □従業員の健康づくりを促進する活動の中で、特に効果があった取り組みや印象的なエピソード、気づいたことについて

団体	従業員の健康づくりを促進する活動の中で、特に効果があった取り組みや印象的なエピソード、それらの出来事から気づいたことについて教えてください。
A	年2回の運動イベントを機に、運動をするようになったという声は多く届いています。やる・やらないは個人の自由ですが、場の提供は必要だと感じています。
B	運動機会の増進では、企業ごとにエントリーするウォーキング大会に参加しました。お昼休みに一緒に歩いたり、企業内で競い合うなど、コミュニケーションが持てました。毎日10000歩歩くという職員がいるなど、それぞれの生活習慣に刺激を受け、少しずつですが仲間が増えてきました。
D	取り組みについて公表を行なうこと。
F	社員が自ら企画した同好会をいくつか作り、会社は一部費用の負担をしていた。運動、趣味活動、音楽、登山など、様々な同好会を作って、社員同士のコミュニケーションを図っていた。今現在はコロナ感染防止の為、活動は禁止している。

# 認定取得されている団体様の取り組み

□従業員の健康づくり促進に取り組んでいる（取り組みを検討している）中で、会社としてまたは担当者として悩んでいること、苦勞されていることについて



## 【認定取得団体様の取り組みから感じたこと】

健康経営優良法人認定、ふくい健康づくり実践事業所にて認定取得されている団体様の取り組み状況をみてきましたが、自組織の課題を把握して目標設定されていること、しっかりと取り組んでもらえるように社内ルールや仕組みに落とし込まれていると感じました。

### 1) 就業規則や社内ルールに組織の考えを反映させる

定期健康診断については法的義務がありますが、特定保健指導や二次検査（精密検査）の受診については法的な縛りがないところが悩ましいところです。

ある団体様では、**特定保健指導の受診を「義務化」**されている団体様があり、あくまで推測ですが、従業員との合意によって**「就業規則」等で社内ルールとして整備**されておられるのではないかと思います。

従業員の健康を経営課題の一つと捉えて取り組んでいくことを宣言したうえで、就業規則等で働く上でのルールとすることで、組織は受診勧奨を促しやすくなりますし、従業員はルールを遵守する意識がはたらく、受診率を高めているのではないかと考えます。

また、**精密検査についても「必須受診」**とされている団体様があり、こちらも社内ルールとしてうまく機能させているのではないかと考えます。さらには**費用の一部を負担する制度**を設けられているようで、従業員にとっては費用負担という一番大きな壁が低くなる非常に有難い制度ではないでしょうか。

### 2) 運動機会、治療と仕事の両立、食生活改善が課題

感染予防、長時間労働、受動喫煙、メンタルヘルスについては、回答いただいた団体様共通で取り組んでおられる項目です。全体と認定取得済み団体様の違いとしては、**女性の健康保持増進、コミュニケーション促進**に関する取り組みの有無です。共通の課題としては、**運動機会、治療と仕事の両立支援、食生活改善**があげられます。

# まとめ

今回のアンケート調査にて気づいた点、ご提案をまとめさせていただきました。

## 1) 健康づくりに関する情報不足

県内の健康経営優良法人2021の認定取得団体数は82団体で、2018年と比較して約9倍となっており、関心の高さがうかがえます。今回のアンケート調査において、健康課題に基づいた具体的な目標を設定している団体は17%と低い状況でした。また、健康づくりに関する各種認定について「対象外」と捉えている団体様が26～50%となっており、詳細は分かりませんが正しい情報が伝わっていないのではないかと感じております。各団体様それぞれの今後を考えるうえで、経営資源である従業員の「健康」を経営課題の一つとして考えるきっかけとして、認定を活用いただけたらと考えております。

## 2) 健康づくりに関する連携不足

感染予防、長時間労働、受動喫煙、メンタルヘルスについては、全体的に取り組みが進んでいますが、女性の健康保持増進、コミュニケーション促進については、関心はありつつもなかなか手が付けられない分野のようです。また、運動機会、治療と仕事の両立支援、食生活改善については、先行して取り組んでおられる団体様においても検討段階というのが現状です。これらの点については、すでに取り組んでおられる団体様があるという状況は、素晴らしいとしか言いようがないと感じております。また、取り組みたくてもマンパワー不足によって取り組めないという問題もあるかと思えます。ここは、私ども病院併設型の健診センターという利点を生かして、まずは情報提供をさせていただくことで少しでもお役に立てたらと考えております。

治療と仕事の両立支援については、患者さんのための仕事の相談窓口が当院に設置されており、通院しながら働きたい、自分の症状や体力にあった業務内容を検討したいなどの相談を受けております。また、各団体ご担当者様からのお問合せについても大歓迎です。※添付資料をご参照ください。

運動機会については、各自治体にて健康増進事業が行われておりますので、会社ぐるみでのご参加の検討をお勧めいたします。また当院ホームページにて「家でできる運動家トレ」を紹介していますので、是非ご活用ください。

## 早期発見、早期治療は大事、それ以上に大事な生活習慣

人間ドックや健康診断を受けただけでは健康にはなりません。目的を明確にして自分にできることを継続的に取り組み（生活習慣を整える）、定期的にチェック（結果説明や指導がある人間ドックを受診）して次の行動（生活習慣を磨く）につなげていく習慣が、健康を手にするために自分ができる唯一の方法だと考えています。何事においても100%大丈夫ということはありませんが、生活習慣を整えることでがん、心臓病、脳卒中、糖尿病などの発症リスクが低くなることが分かっています。早期発見、早期治療は大事ですが、できることなら発症しないで欲しい！と誰もが強く願っているのではないのでしょうか。それができないから困っているんだよー！という声が聞こえてきそうですが、できないのではなく、やるかやらないかです。本気で取り組めば少なくとも生活習慣は変えられます。生活習慣を整えることで体重100kgから78kgまでに改善した自分だから断言できます！より安全に、効果的に多くの方に取り組んでいただくためには、とっかかりとして「仕組み」（費用助成制度、イベント開催）と「ある程度の強制力」（就業規則で明文など）が有効かと思えます。健保組合、企業、地方自治体そして私たち健診センターが繋がり、それぞれの強みを活かしながらできることから取り組むことで、「被保険者」「従業員」「住民」「利用者」と立場によって呼称は違いますが、共通の大事な方々の健康づくりが実現できると考えています。健康を土台として、一人でも多くの方がイキイキと社会活動を行い、仲間とワイワイ楽しみ、家族との時間を味わえる「真の幸福度日本一・福井県」を築いていくために、繋がって、協働していきましょう！

# 【参考資料】健康課題に基づいた目標と達成状況①】

各団体での目標設定や達成状況です。これから取り組みを検討されるとき参考資料にご活用ください。

	2020年度の健康課題に基づいた具体的な目標を教えてください。	2020年度の健康課題に基づいた具体的な目標の達成状況を教えてください。
1	健康診断を100%受診します 特定保健指導を100%受けます 検査結果で再検査が必要な場合は必ず受診します	身近な健康情報を月1回発信
2	コロナ禍での感染予防の徹底	2020年4月-2021年3月期間 100%
3	従業員の健康維持のため、法定項目のみならず必要な検査を追加して充実した定期健康診断を行う。また検査結果から健康課題を把握し、従業員への声かけや今後の施策に役立てる。	全員ががん検診を受診（定期健康診断にオプション追加）。定期健康診断で風疹抗体検査を実施、抗体が無いと判断された従業員には予防接種を推奨し、接種したとの報告を受けた。インフルエンザ予防接種を会社での集団接種で実施し全員が受けた。
4	健康診断/ストレスチェックの100%受診	健康診断 ほぼ100% ストレスチェック 約90%
5	コロナウイルス感染予防対策に心掛ける 生活習慣病予防検診及び定期健診を受診する。	達成しています。
6	社内禁煙につき、喫煙者を出さないこと。特定保健指導の対象者を出さないこと。もしもの場合は早急に改善してもらうことです。	喫煙者はありませんが、特定保健指導の対象者は面談はしておりますが、毎年の検診結果はあまりわかりがありません。
7	二次検診の受診率をあげる ・検査代を一部会社負担とする ・二次検診を受診する必要性を理解していただくため、産業医との面談の機会を設ける	検討中のため未達成
8	健康管理の推進	有所見者に対して、保健指導の実施 結果通知に当たりプライバシーの保護に当たる
9	①有休取得率の向上（ワークライフバランスの向上のため） ②二次検査の受診率向上 ③オプション検査の受診を奨励	①有休取得率 64.6% ②二次検査の受診率 54.1% ③オプション検査受診率 12.2%
10	健康診断全員受診	全員受診した
11	年休取得率新規付与数の50%以上	48%未達（2020コロナによる休業を7日間実施のため）
12	・毎朝ラジオ体操を実施（各部署ごと） ・インフルエンザ予防接種を会社全額負担で実施 ・過重労働防止 残業時間や有休取得状況を月に4回配信	・毎朝ラジオ体操を実施（各部署ごと）→毎日実施しています！ ・インフルエンザ予防接種を会社全額負担で実施→昨年12月に実施済み ・過重労働防止 残業時間や有休取得状況を月に4回配信→ 実施中
13	喫煙者の減少	喫煙者2名→1名に
14	毎年ドックで健康診断をする。 結果で再検査等必要なことをする。	申し込み済み
15	健康診断受診率100%を目指す	受診率67%程度だった
16	健康診断二次健診受診、喫煙専用室の運用	達成

# 【参考資料】健康課題に基づいた目標と達成状況②】

各団体での目標設定や達成状況です。これから取り組みを検討されるとき参考資料にご活用ください。

	2020年度の健康課題に基づいた具体的な目標を教えてください。	2020年度の健康課題に基づいた具体的な目標の達成状況を教えてください。
17	全員健康診断を実施し、再検査があれば必ず受診する	9月～10月に健康診断を予定している
18	禁煙の推進	事業所内の喫煙所の撤去
19	健康第一	適度な運動を各自で実施中
20	できるだけウォーキングだけでもいいので実践する。	それなりにできているかと思います。できればもっと歩いた方がいいかとも思います。
21	アルコール消毒の徹底 健康診断の全員受診	達成されている
22	BMI数値を標準の範囲にすること。 血圧を正常値にすること	フィットネスジムと法人契約をし、会社全体として継続的な運動をすることを推奨している。
23	健康診断受診率 100%	1新型コロナウイルスの影響で、各施設の健康診断が1次中断したが、100%受診達成した。
24	①定期健康診断結果で再受診が必要な人の受診率100% 2019年2020年達成 2021年度も100%を目指す ②喫煙者数を減らす 54人→50人	①定期健康診断は10月に実施→100%達成の予定 ②10月の衛生週間で喫煙率を調査→未定
25	従業員全員が元気で活躍できる事業所を目指す	健康診断100%受診。特定保健指導の実施。医師からの意見聴取。再検査の受診推奨。 従業員全員での朝のラジオ体操。
26	①40歳以上 健診受診率（被保険者100%、被扶養配偶者60%） ②特定保健指導受診率 20%以上 ③喫煙率（被保険者30%以下）	①82.2%、39% ②7.6% ③31.5%
27	健康診断、特定保健指導の受診100%	100%受診を達成できました。
28	健康診断、人間ドック受診完了を12月末までに全員受診	ほぼ受診完了
29	毎日のラジオ体操 血圧計の設置	達成した
30	血圧をはかり、健康管理に役立てる	結果はでていないが、意識のなかにとどめることから始める
31	・生活習慣病予防対策の強化（健康診断の事後指導の徹底、運動の習慣化、食生活習慣改善等、生活習慣改善の必要性について周知） ・こころの健康づくり計画に基づき、職場全体でのこころの健康づくりの推進	・健康診断受診率 99% ・事後指導の徹底 コロナ禍で健康診断の実施が遅れたため、事後指導（要再検・要精検者、要治療者のフォロー）はR3年度健康診断結果に併せて実施 ・ストレスチェックによる高ストレス者に対する産業医の面談の実施 100%
32	自分スタイルの運動を取り入れる	各個人が自分の時間に合わせて何らかの運動（体を動かすこと）を達成している

# 【参考資料】健康課題に基づいた目標と達成状況③】

各団体での目標設定や達成状況です。これから取り組みを検討されるとき参考資料にご活用ください。

	2020年度の健康課題に基づいた具体的な目標を教えてください。	2020年度の健康課題に基づいた具体的な目標の達成状況を教えてください。
33	定期健康診断受診率100% 再検査・精密検査の必要な社員はその後の結果報告をし、健康管理に努める。	対象となる社員には定期健康診断を受診させている。 所見のある社員には、声掛けで受診勧奨をし、半数以上の社員に結果報告をさせることが出来ている。 また、特定保健指導対象となった社員については、今年全員が指導を受けてもらった。
34	高血圧対策（健康セミナー）	健康セミナー実施済
35	①喫煙者ゼロ ②定期健康診断・再検査・要治療 受診率100% ③健康イベント参加率80%	①喫煙率 1.5% ②前期実績 87% ③2020年春実績 62.6%
36	定期健康診断の血圧と血糖の項目において、要治療となったにもかかわらず未治療となっている者に対して再診・治療の勧奨をし、約半分まで未治療者数を削減する。	治療勧奨し、目標値に近い削減を達成できる見通し。
37	高血圧対策	運動機会増進 感染症予防対策
38	健康診断を100%受診 検査結果で再検査が必要な際は必ず受診する	達成されている
39	日頃から、各々健康に気を付ける。	めだつような、怪我、病気はありませんでした。
40	分煙	100%
41	定期健康診断で指摘を受けた社員の再診の促進	決まった人しか再診していない。
42	・社員の健康リテラシー向上 ・生活習慣病予防健診 要検査の再診率アップ	・全社員を対象に「生活習慣についての自己チェック」を実施（3ヶ月に1回）※強制ではありません。 ・社員向けに健康づくりについての継続した情報発信（週2回 独自で作成したものを発信、月2回 済生会病院様の「かけはし」からピックアップしたものを発信しております） ・要検査の対象者へ促すだけでなく、再診の報告まで求めるような仕組みを作りたいと考えております。
43	健康診断受診率100%	受診率100%
44	人間ドック、健康診断の受診率100%にする	人間ドック、健康診断受診率100%受診
45	「生活習慣病予防健診」「脳ドック」の受診推進・定期健康診断の再検査受診率100%を目指す・生活改善に関する資料の掲示	定期健康診断の再検査受診率100%達成。
46	従業員の健康診断受診率100% 再検査の案内、再受診率向上	健康診断受診率100%達成 再検査の案内100%達成 再受診率25%
47	期限内定期健診100%完全受診	100%達成
48	社会保険加入者全員に健康診断を受けていただく	受けていただいて、産業医に結果をみていただいた。